

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート久留米シエスタ			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合を促す遊びや認知力を強化するコグトレを実施し、生 活動作、学習、コミュニケーション、すべての土台を包括的に 整える支援をおこなっている。	安心安全な場所となるよう、利用児童や保護者の方との信頼関 係の構築に努めている。また、個々の専門的支援計画書を作成 し、必要な支援をおこなっている。	児童自身で問題解決が出来るよう、支援者側が声をかけず ぎたり、すべてを解決したりせず、一人ひとりが考え、行動 できる機会を増やしていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実施している訓練や周知すべき事などおこなっているものの、 確認されていない保護者が数名いる。	その時だけの周知になっている。	確実に確認をしていただけるよう、ニュースレターの配布 時に口頭で説明をおこなう。また、保護者会には多くの方 に参加していただけるよう、内容を検討していく。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート久留米シエスタ				公表日	2026年	2月	3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	仕切りをする等工夫をしながら、利用児童が楽しく過ごせるようしている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基本人員プラス2名の配置で支援をおこなっている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	事業所が2階にあるため、充分注意を払い対応をしている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日整理整頓をおこない、心地良く過ごせるよう環境設定をおこなっている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	その都度個々に応じて必要な時は、提供をおこなっている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	入社してすぐに研修をおこなっている。また、全員実施をしている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	会議やミーティングで周知をおこない、対策会議を実施している。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日の支援の振り返りや当日の支援のミーティングをおこない、スタッフ間の意見がなにか確認をしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部評価はおこなっていない。	必要な時には、検討をしていく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	本部で定期的におこなわれている研修や、外部の研修や勉強会などに参加している。				
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公表はおこなっている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	計画更新時には、必ず保護者様や学校の先生との会議や聞き取りをおこない、計画書に反映している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	スタッフ全員と保護者様、利用児童の意見を聞き検討している。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	共有をおこない、計画書に沿って支援をおこなっている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者様よりご提供いただいた検査結果やご家庭、学校での様子など情報共有をおこない、状況の把握をおこなっている。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	事業所内での情報共有、保護者や学校、関係機関との連携を取りながら、個々に必要な目標設定をおこなっている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	日々のミーティングや月1回の法人での職員会議で意見を出し合い、決めている				

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	さまざまな体験が出来るよう、ミーティングをおこない、児童に合わせた活動を提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	日々の記録や月1回の評価会議で職員全員が個々の状態を把握し、最適の目標設定をおこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日、前日の振り返りと当日の支援ミーティングをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	当日話し合うべき事は、その日にミーティングをおこなっているが、送迎業務で時間確保が難しく緊急性がない事は翌日おこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	前日の記録をもとに毎日支援会議をおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	毎月月末には、個々の評価会議をおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	ガイドラインに沿った活動をおこなっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	大まかなスケジュールは設定しているが、活動の中で自己決定をする場面は設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	日頃の状況を見て、把握している職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要な児童には、会議等を通してお願いをして、連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	情報共有をおこないやすいよう、学校の先生との関係性は構築している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	幼児研究所をご利用していた児童については、様子が記載されているノートのコピーをいただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	今現在該当者はいない。	該当児童がいた時には対応をおこなう。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	研修がおこなわれる時は、積極的に参加していきたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	同法人以外では実施できていないため、検討していく。	同法人内での関わる機会はある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	参加について確認をおこない、検討していく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時を利用しておこなっている。また、必要に応じて連絡を入れ情報共有をおこなっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	保護者会や勉強会などを通して、寄り添い支援をおこなっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時、計画書更新時、法改正時など必要な時におこなっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成時には必ず情報共有や聞き取りをおこない、保護者や利用児童の意見も反映している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	利用児童と保護者に説明をおこない、サインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	常に寄り添い、話を傾聴しながら支援をおこなっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会や親子レクレーションを実施し、保護者同士、きょうだい同士関わる機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があった時には迅速に対応をおこなっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、ニュースレター、ブログ等で発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	書類等は、鍵付き書庫で保管をおこない、支援中など目に入らないように、配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	該当児童や保護者には分かる方法で対応をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	近くの高齢施設へのプレゼントを製作したり、訪問をして一緒にレクレーションをおこなったりしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	保護者へは契約時に周知している。また、職員は定期的に研修や訓練をおこなっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年に1回消防総合避難訓練を実施し、その他訓練もおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	こまめに利用児童の姿を観察する事に努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	該当児童には、指示書の提出をお願いしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画作成のもと、支援をおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に説明をおこない、実施した際には連絡帳やニュースレターなどで報告をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット、事故報告書は事業所内で再発防止を考え、毎月の職員会議で共有し、検討会議をおこなっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	委員会を実施し、全職員研修を受け適切な対応が出来るように努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	該当者はいないが、必要となった時にはマニュアルに沿って適切におこなう。	